

⑱ 東松家住宅《重要文化財》



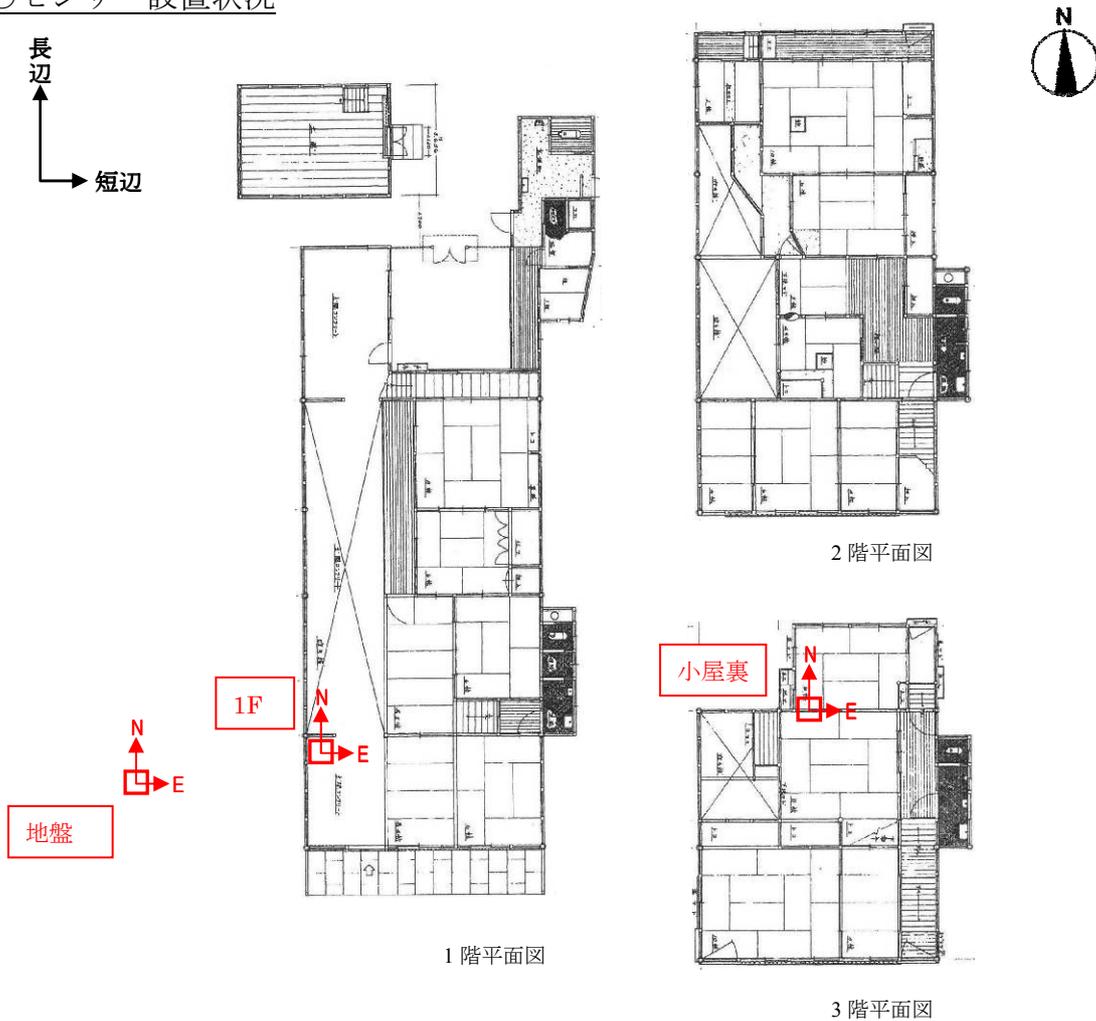
旧所在地	名古屋市中村区船入町		
構造、階数、用途	木造、3階建、住宅		
建築年	1901	移築年	1965
最高高さ(m)	10.30	標高(m)	113.80
建築面積(㎡)	178.37	延床面積(㎡)	398.87

・間口が狭く奥行の深い典型的な町家建築であり、塗屋造という江戸時代以来の伝統的な工法で建てられている。1階左側に裏まで抜ける通り土間があり、右側に店、座敷を連ね、土間の上を3階までの吹き抜きとしている。

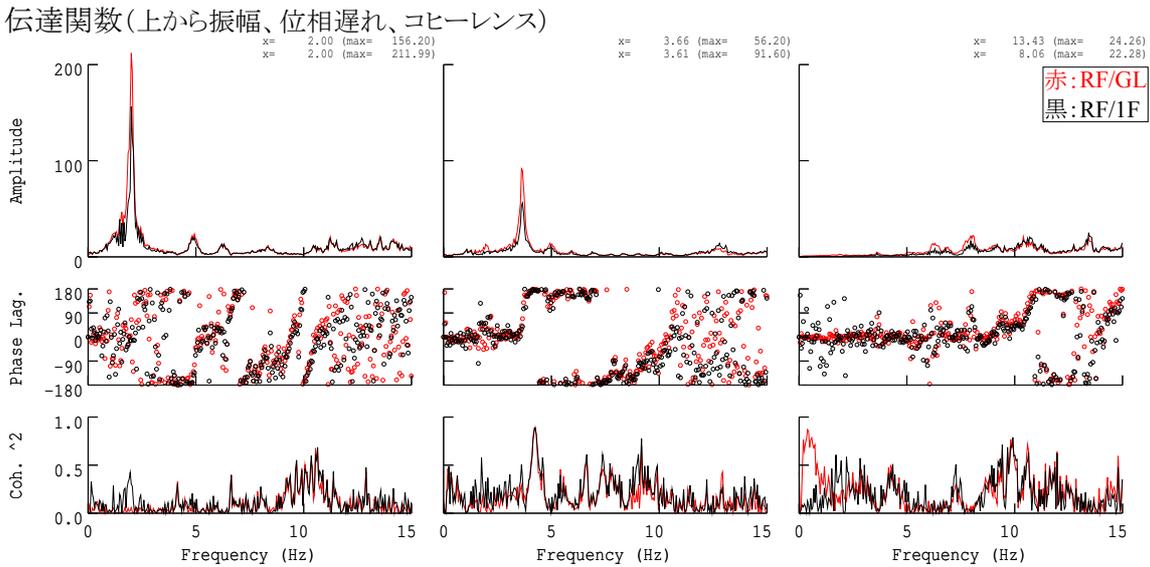
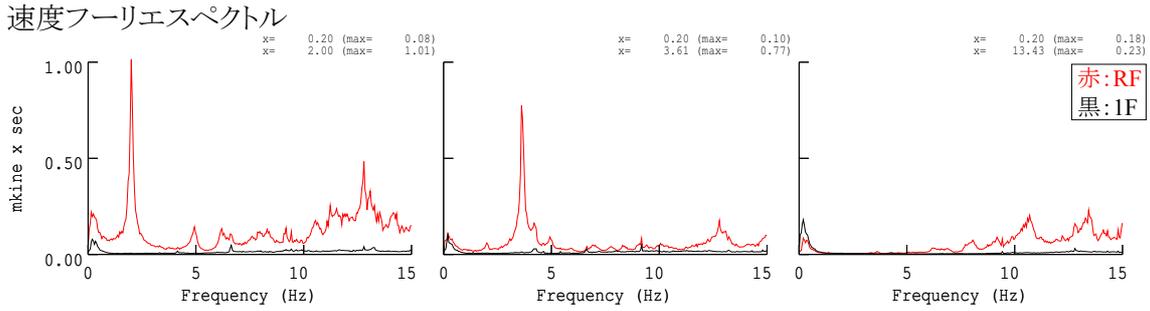
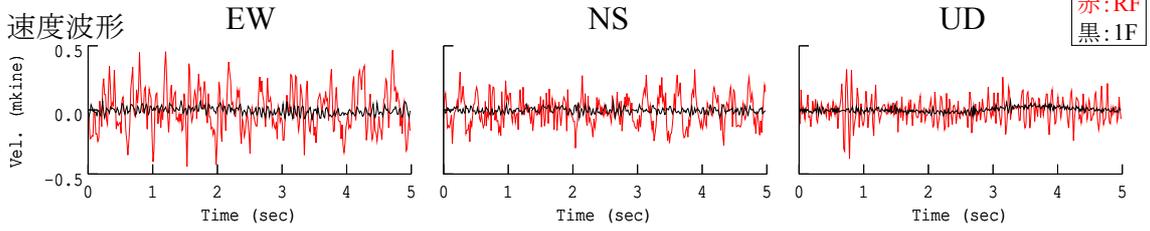
・1階センサーはその土間に設置した。

・壁量の多い長辺方向は短辺方向より高振動数である。

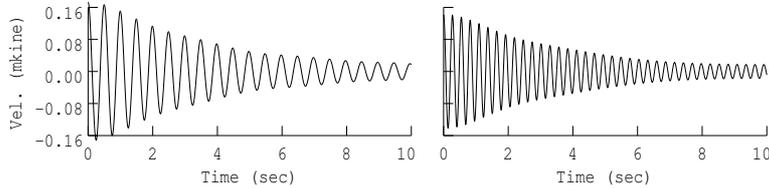
○センサー設置状況



⑱ 東松家住宅



RD 法による自由振動波形



□ 推定固有振動数

EW 2.02Hz

NS 3.64Hz

□ 推定減衰定数

EW 2.15%

NS 1.26%

[RD 法(対数減衰率)]

H/V スペクトル

